

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北関東)	◎	－	－	－
	○	コンビニ（エリ ア担当）	販売量の動き	・値上げの影響が大きいので、今後もまだしばらくは売上が増えていく。
	○	コンビニ（エリ ア担当）	来客数の動き	・お盆期間や各種イベントの開催により、来店客が増加し、店内の購買意欲も高まっている。全体的に売上は好調に推移し、良い状況となっている。特に、お盆期間中は帰省や行楽等の客の来店もあり、通常とは異なる時間帯でも多くの客が利用している。
	○	乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・一部改良した主力モデルが好評を博し、順調に販売数を伸ばしている。
	○	タクシー（経営 者）	お客様の様子	・昼も夜も動きが良かったので、前年同月比で8%の増収である。
	○	テーマパーク （職員）	来客数の動き	・前年と比べて猛暑が厳しくないことや、前年開催の大阪・関西万博の反動等により、来園者数が増加している。
	○	美容室（経営 者）	来客数の動き	・若い世代に人気のあるフェードカットのスタイルが中高年層にも抵抗なく波及してきている。地域で先んじてメニュー化していたため、先行者利益が得られている。
	○	住宅販売会社 （経営者）	販売量の動き	・政策金利上昇により住宅ローン金利が上昇する危機感からか、駆け込みに近い需要が増加している。
	□	商店街（代表 者）	お客様の様子	・取引業者から値上げの要請があり、販売価格に転嫁せざるを得ない状態だが、必要な物は多少高価でも買い求める客が増えてきている。
	□	一般小売店〔精 肉〕（経営者）	お客様の様子	・今月はお盆休みがあり、各地でイベント、納涼祭や花火大会が行われ、皆が出掛けており、とてもにぎやかで良かった。しかし、平日は暑さが厳しいことや天候不順が続いているため、外出を控えている人が多い。大型店はクーラーが効いているため、遊びに行くように買物をしているが、大した期待はできない。
	□	スーパー（経営 企画）	お客様の様子	・値上げになった商材もあり、1人当たりの買上点数は減少傾向が続いているが、客単価は上昇傾向である。
	□	乗用車販売店 （経営者）	販売量の動き	・諸物価がかなり上がっている影響もあるのか、新車や中古車の販売が微減で推移している。
	□	住関連専門店 （仕入担当）	販売量の動き	・平均単価は105%以上で推移しているが、販売数の落ち込みは止まらない。結果として売上はマイナスが続いている。
	□	その他飲食〔給 食・レストラ ン〕（総務）	単価の動き	・主力の給食部門では、食材関連の値動きが大きい状況が続いており、収支面への影響も大きくなっている。クライアントにも了解をもらい、献立や食材構成を柔軟に調整することで影響を緩和し、提供内容の維持向上に努めている。
	□	観光型ホテル （経営者）	来客数の動き	・例年8月はハイシーズンである。月間を通して3か月前の5月より確実に来客数は増えなくてはいけないところ、今年は動きが非常に鈍かった。天候や地震災害等、消費マインドや生活環境の変化、生活費の上昇等から、旅行控えがあったと推測される。
	□	都市型ホテル （支配人）	来客数の動き	・宿泊部門は、夏休み期間や地域のイベント等もあったため、高単価、高稼働で推移している。料飲部門は低調であり、全体としては変わらない。
	□	旅行代理店（経 営者）	販売量の動き	・3か月前の5月は繁忙期のため、8月より販売量が多いのは通常どおりである。今月については例年並みである。
	□	旅行代理店（従 業員）	単価の動き	・売上が大きくは伸びていない。
	□	通信会社（社 員）	販売量の動き	・販売量に注目すると、8月に入ってから、物価高騰対策で各市町村経由で配布されているプレミアム付商品券を利用して購入する客が少しだが発生している。換金性もあり、利用期間が決まっているため、一時的ではあるものの、経済効果を実感している。今後も定期的な対策の実施を期待している。

□	通信会社（営業担当）	単価の動き	・米価の低下は実感できるが、他の食品を含めて値上げが控えているものも多く、決して消費が改善する状況にはならない。
□	ゴルフ場（従業員）	単価の動き	・今月に入るまでは予約は好調に伸びていたものの、台風や降雨の影響もあり、キャンセルが多数出ている。期待していたお盆期間の影響が大きかった。
□	設計事務所（所長）	単価の動き	・建築業界はコスト調整が極めて困難であるため、価格高騰が抑えられず、プロジェクト進行が停滞する。
□	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・最近、物件の問合せが少ない。特に、小さな飲食店は閉業が目立っており、後継者等の問題で廃業する店舗も増えている。不動産、貸店舗、アパート等についての問合せも余り増えていない。
□	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	お客様の様子	・以前と変わらず、依頼事項は一時的な依頼が多く、景気が良くなったからという積極的な依頼ではない。
▲	商店街（代表者）	来客数の動き	・前年からのシールブームが一段落している影響により、文具部門の落ち込みは、今後激しくなる予想である。
▲	一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・前年を基準にした売上達成度で3か月前と比較すると、8月、3か月前共に前年の売上は上回っているものの、3か月前より1割程度下回って、やや悪くなっている。7月末に発生した令和8年熊本地震、令和8年8月千葉豪雨、そして8月末の北陸での大雨と、大きな災害が続いている。国民性として、大きな災害があると娯楽を控える側面があるため、観光業を営む当社の売上は必然的に3か月前よりも良くない。
▲	スーパー（総務担当）	来客数の動き	・今月も来客数は前年割れとなっており、売上も前年未達である。今後も回復の兆しはみえない。
▲	スーパー（商品部担当）	来客数の動き	・以前と比べ、チラシ発行時の集客が8%程度悪い。物価高騰の影響は否めず、買上点数の減少が続いている。
▲	コンビニ（経営者）	単価の動き	・関東地方、特に首都圏に大雨が降り、観光客の数が大幅に減っている。
▲	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・来客数が減っている。
▲	家電量販店（店員）	販売量の動き	・天候に左右されやすいこの時期は、季節商材の伸びが鍵となるが、一旦猛暑も落ち着いて、エアコンの伸びは今一つである。
▲	家電量販店（企画担当）	販売量の動き	・2027年に新たな省エネ基準が開始されることを背景としたエアコンの買換え特需が一服し、来客数も低調な推移となっている。また、前年のパソコン特需の反動減もあり、販売数量が前年を大きく下回っている。
▲	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・地震や台風等、全国的な災害や悪天候が続いたことが、直接影響している。
▲	一般レストラン（経営者）	単価の動き	・8月はお盆休みもあってそれなりに動いたものの、単価はいつもより低めである。暑さもあるが、物価高もあるため、できるだけ出費を抑えたい心理が表れている。
▲	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・3か月前はフリー客の動きは弱いものの、事前予約である程度席が埋まっていたが、今月は空席が目立つ。
▲	旅行代理店（所長）	来客数の動き	・夏らしい天候にならず不安定な天候が続いているため、日帰りのインバウンドの来訪に影響が出ている。
▲	通信会社（総務担当）	単価の動き	・現行商材の値上げが続き、販売は減少している。
×	一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・季節が変わりエアコン需要が減ってくるため、売上も下がってくる。
×	衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・台風や地震等の自然災害が頻発しているため、生活必需品以外の購買意欲が鈍化している。
×	乗用車販売店（経営者）	それ以外	・様々な物の原価が上がっており悪くなっている。

	×	タクシー運転手	お客様の様子	・ 8月に入り、極端に利用客が少なく驚いている。今までは午前中くらいは動いていたが、今は朝から動かず、待機の時間が長い。お盆時期でも帰省客は少ない上に、送迎車も多く、タクシー利用客は減っている。夜間の利用客もいない。車社会の当地では、6月の料金値上げの影響が出ている。
	×	ゴルフ練習場（経営者）	単価の動き	・ 多数のメーカーから値上げの連絡があり、当社も販売価格を上げざるを得ない。
企業 動向 関連 (北関東)	◎	—	—	—
	○	*	*	*
	□	食料品製造業（経営者）	取引先の様子	・ 収入が若干増えた消費者は、多少余裕が出てきたためか購買意欲がみられる。しかし、この先も物価上昇が控えており、先行きは不透明である。当社仕入先の農産物生産者は、肥料や資材の価格高騰が激しく、特に、価格暴落が予想される米穀の生産者は中小規模を中心に、今後の事業継続に悩んでいる。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ 必要なものだけが購入されている。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ 夏休みで工場の稼働も落ちており、これといって目立った仕事の動きはない。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ どちらかという下向きのイメージだったが、50社ほどある取引先企業からではなく、個人客から2件の高額製品受注が入ったため、売上は今期の単月で最高になっている。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・ 全ての取引先が、お盆に9連休で仕事を抑えたため、非常に少なく大変な状況である。
	□	輸送用機械器具製造業（総務担当）	取引先の様子	・ 主要取引先の生産は計画どおりに進んでいる。
	□	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・ 暑い日が続き、夏物家電のエアコン、冷風機、スポットクーラー、サーキュレーター、熱中症対策の空調ベストや工業扇風機など、物量は前年比15%ほど増えている。しかし、燃料、コスト、人件費等は高騰しており、荷主からの運賃値上げもあり、利益的には薄くなっている。
	□	金融業（営業担当）	取引先の様子	・ 多くの取引先で仕入単価が上昇しており、価格転嫁もしているものの、1度上がった価格が下がることはなく、業況的に変化は少ない。
	□	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・ SNS広告は活況なものの、広告代理店に依頼する件数は少ない。
	□	経営コンサルタント	それ以外	・ 消費行動は例年並みである。夏休み時期ということを考慮しても、行楽地などの人出はさほどではない。
	□	社会保険労務士	取引先の様子	・ 中東情勢の影響による材料価格上昇分について、企業間取引では価格転嫁が進んでいる。
	▲	化学工業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・ 引き合い物件はあるものの、発注に至らない。
	▲	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・ 取引先の部署再編が行われる予定があり、定期業務、特に清掃部門において業務の削減が始まっており、売上が減少している。
	×	—	—	—
雇用 関連 (北関東)	◎	—	—	—
	○	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・ この時期は夏休みの学生を対象として、お盆等の人手不足を解消することを目的とした募集が多い。食料品、野菜を中心とした総菜、贈答品等の購買が増えている。生産はお盆の長期休みがあったが、販売は良く、観光地等の客足もかなり伸びていたようなので、全体としてはやや良くなっている。
	○	人材派遣会社（管理担当）	周辺企業の様子	・ 人気機種の新規販売が予定されているため、下取り検品業務の増加等が見込まれる。

	☐	人材派遣会社 (社員)	周辺企業の様子	・当地区は観光地だが、国内観光客の入込数は順調で、インバウンドも8月については、多く来ている。土産物店、宿泊施設関係の納入業者等に聞くと、非常に動きがあるとのことである。ただし、物価高もあつて、買い控えやサービス提供の減少等もあるため、総じて変わらない。
	☐	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・人員募集の背景として、業績拡大による増員は少なく、欠員補充が多い。
	☐	職業安定所(職員)	求人数の動き	・新規求人数は前年同月比で3か月ぶりに増加したものの微増であり、増減を繰り返している状況は変わらない。
	☐	学校〔専門学校〕 (副校長)	求人数の動き	・ここ最近の求人数の動きを前年と比較しても、大きな変化は見られない。
	▲	*	*	*
	×	*	*	*